



平成 22 年度総会資料



と き 平成 22 年 6 月 23 日(水) 13 時

ところ ウエストパーク松阪 (松阪市伊勢寺町)

三重の畜産女性の会 サン・カラット

平成 21 年度事業報告

昨年のサン・カラット総会の頃は、新型インフルエンザが流行の兆しをみせて、一時はどんな状況になるのか心配で、開催そのものの是非を検討したことが思い起こされます。

しかし、幸いにも当初心配したほどの感染拡大もなく、結果として国が準備したワクチンも余るといった状況になりました。

経済情勢は、前年からの厳しい影響が残り、全般的に消費が低迷したままになっています。畜産業界では飼料価格は高止まり状態であり、相変わらず収支状況は奮いません。

このような状況の中で、畜産に携わる女性としてどんなことができるのか、どんなことをすればよいのかを悩みながらも、皆さんに助けをいただきながらサン・カラットの活動を展開しました。

1 総会

- ・とき：平成 21 年 6 月 9 日（火）
- ・ところ：湯の山温泉寿亭（三重郡菟野町）
- ・出席者数：総数 36 名（うち会員 22 名）
- ・協議内容：平成 20 年度事業実績の報告、平成 21 年度事業計画の提案



小林代表世話人は「4 年目を迎えるに当たり、会員の皆さんのアイデアやアドバイスをもらいながら、前向きな姿勢でサン・カラットの活動を展開したい。」という挨拶をしました。

来賓として三重県農水商工部農畜産室の齋藤副室長、三重県農業協同組合中央会の葛西地域対策部長のお二人にご臨席いただき祝辞をいただきました。



2 研修会等の開催・参加

1) 研修会と意見交換会の開催

- ・とき：(総会終了後)
- ・ところ：(総会会場と同じ)



『湯の山温泉のことをもっと知ってほしい、もっと盛り上げたい。』という思いで立ち上げられた「湯の山温泉女将の会きらら」会長の西田厚子さんから、地元商品の企画やイベントの開催で注目を浴びている活動のようすや「女将の瓦版」や「女将ブログ」で、積極的に情報を発信しているようすを聞かせていただきました。

また、同会の役員のご出席もいただき、フリートーク形式で会を進めました。

観光業界も少なからず不況の影響を受けているようですが、これに 대응するために、お客様への接待や心づかいについても会員同士が勉強しているということでした。

2) 漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会への参加

- ・とき：平成 21 年 9 月 18 日（金）
- ・ところ：華王殿（松阪市高町）
- ・出席者数：総数 161 名（うちサン・カラット会員 5 名）



《事例発表》

三重県酪農女性会議の堀山静代さんから「命の現場から、食・農・命の大切さを伝えよう」と題して地産地消や食育に取り組んでいる事例の発表がありました。

酪農経験 28 年を振り返ると苦しい時代もあったが、後継者も育ち、経営も安定したので、これからは恩返しの気持ちで地域へ貢献していきたい、「酪農」という命の現場で命の大切さを学んでもらえるようにしていきたいというお話がありました。



《お母さんのお弁当コンテスト》

「お母さんが持っている昔ながらの知恵や技」により「郷土の食文化を世間に広め農山漁村への関心を高めよう」という目的の企画でした。

総数 19 点の「作品（お弁当）」の出品があり

サン・カラット会員の松葉由紀子さん（いなべ市）が作った「京ヶ野さくらポークでブタさん弁当」は、審査の結果 5 位に入賞しました。「かわいいキャラ弁を作ってあげたい。」という思いで自家産の京ヶ野さくらポークや地元の食材を使った作品でした。

《講演》

「笑いは健康のもと」と題し、落語家の切磋亭琢磨さんにより「笑いの効能」について講演と落語三題の公演がありました。

3) 行政ご担当者との意見交換会 in 愛知

- ・とき：平成 22 年 1 月 19 日（火）
- ・ところ：桜華会館（名古屋市）
- ・出席者数：総数 40 名（うちサン・カラット会員 11 名）



この意見交換会は、全国畜産縦断いきいきネットワークの行事として、平成 18 年度から開催してきたもので、東海農政局管内で開催したのはこれが初めてとなりました。

この日には次の 3 つのテーマで話を進めました。

テーマ 1「農政局の組織や役割について」では、農政局から多岐にわたる関係各事業について説明がありました。食料自給率の向上に係る自給飼料の生産利用やエコに関する対策については、今後、重点的に推進していくということです。

テーマ 2「食育への支援について」では、農政局からは、「食事バランスガイド」や「教育ファームについて」の実施状況について説明がありました。出席した皆さんはそれぞれが取り組んでいる食育活動について、その内容や課題について意見を発表しました。

テーマ 3「後継者の育成について」では、就農に当たっては、規模拡大に伴う資金が必要

である場合も多く、これらについて行政からもっと優遇措置や支援があることを望みたいという現実的な要望もありました。

4) 仲間づくり交流会 (三重県畜産協会事業)

- ・とき：平成 22 年 2 月 2 日 (火)
- ・ところ：三重県教育文化会館 (津市)

この交流会は三重県畜産協会事業の一環として開催したもので、講師に神奈川県横浜市から北見畜産(養豚業)総務部長の北見満智子さんをお迎えしました。

北見さんは、自らの経営にも手腕を発揮してみえますが、全国畜産縦断いきいきネットワークを立ち上げるに当たり大きな力となり、初代の代表世話人となって全国の会員のために尽力された方です。大変な労力と時間を要したものの、結果として全国に仲間がいるという心強さと目には見えない財産ができたことを皆さんに感じてもらいたいと熱いエールをいただきました。



5) 第 22 回農山漁村のつどい開催

- ・とき：平成 22 年 2 月 17 日 (水)
- ・ところ：三重県総合文化センター(津市)
- ・出席者数：総数 273 名 (うちサン・カラット会員 11 名)

《講演》

平成 18 年のサン・カラット発足に当たり、来県いただいた全国畜産縦断いきいきネットワーク会長的那須真理子さんから「新たなる挑戦」と題した講演がありました。新たに「てっぽこ」というお店をオープンさせ、あか牛のお肉の自家産直売を始めた話も含めて、元気と活力を感じるお話でした。

《食育活動の報告》

小学生が生産者と一緒に食農教育活動を実施する事例として、いなべ市の山郷小学校における活動や紀北町の地産地消活動事例の発表などがありました。

《身近なマナー講座》

会釈の仕方や電話の受け方、部下の褒め方、叱り方など、生活の中ですぐに役立つマナーについても学びました。



6) 料理教室 (三重県畜産協会事業)

- ・とき：平成 22 年 3 月 8 日 (月)
- ・ところ：ウエストパーク松阪 (松阪市)
- ・出席者数：総数 20 名 (うちサン・カラット会員 14 名)



この料理教室は、畜産物の利用拡大を目的に三重県畜産協会の地域畜産ふれあい体験交流活性化事業の一環として開催されたものです。

これまでも畜産物を材料にした教室に参加はしましたが、「牛乳」をメインにしたものは初めてでした。講師の扇田先生から、「揚げ豆腐の牛乳あんかけ」、「ミルクポテトオムレツ」、「アルジェリア風スープ」、「クレープ・フルーツソース」の4品の作り方を学びました。

また、調理の後、三重県酪連の河野参事から「牛乳とは」「酪農とは」というお話もいただきました。

酪農に限らず、生産を支える基本は消費です。厳しい畜産情勢に打ち勝つには、行政からの支援も必要ですが、畜産仲間で消費拡大にも取り組んでいきましょう。

3 会員間の情報交換、活動内容の広報等

1) 会員誌の発行

サン・カラット通信第8号（平成21年9月発行）

- ・湯の山温泉寿亭で総会・研修会を開催
- ・たまごふわふわ
- ・全国畜産縦断いきいきネットワーク平成21年度大会に参加しました
- ・みえの食育公開講座
- ・サン・カラット会員の腕を活かしましょう（お弁当コンテスト作品募集）

サン・カラット通信第9号（平成21年11月発行）

- ・平成21年度漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会
- ・サン・カラット会員さんたち、各方面で活躍！
- ・年度後半のサン・カラット活動予定

サン・カラット通信第10号（平成22年3月発行）

- ・行政ご担当者との意見交換会 in 愛知
- ・第22回農山漁村のつどい開催
- ・講師に北見満智子さんを迎えて会員交流会
- ・牛乳を素材にした料理講習会



2) 事務局通信の発行

事務局通信(平成21年7月)

- ・おしゃれなTシャツデザイン募集
- ・映画「ブタがいた教室」が上映されます
- ・年会費納入についてのお願い

3) ホームページによる情報発信

三重県畜産協会のホームページ「三重の畜産広場」内のサン・カラットのサイトでは、会の紹介、会員募集、トピックス等の活動状況を広報しました。

(サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/>)

4 その他、会の運営等に関する活動

1) 世話人会の開催

- ・とき：平成 21 年 5 月 12 日（火）
- ・ところ：三重県桜橋会館（津市）
- ・出席者：サン・カラット世話人
- ・協議内容：平成 20 年度実績、平成 21 年度活動計画等

サン・カラットの活動やこれらと関係する全国畜産縦断いきいきネットワークの活動等についても会員に紹介し勧めていくこととしました。

なお、この会議は、畜産協会が実施する畜産関係団体調整機能強化事業の一環として開催されたものです。

2) 全国畜産縦断いきいきネットワーク大会への参加

- ・とき：平成 21 年 6 月 30 日（火）
- ・ところ：虎ノ門パストラル（東京都港区）
- ・出席者：140 名（三重県から会員 2 名、畜産協会 1 名）

株式会社グッドテーブルズ代表取締役の山本謙治先生により「日本の食は安すぎる、畜産物は安すぎる」と題した講演がありました。

その他の内容としては、2 分間スピーチやティータイム、農水省の職員の皆さんとの意見交換会もありました。



5 平成 21 年度収支報告

三重の畜産女性の会サン・カラット

平成 21 年度収支計算書

(平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科 目	予算額	決算額	差異 -	備 考
会費	200,000	165,000	35,000	5,000 円×33 会員分
寄付金	0	0	0	
特別事業費	20,000	24,000	4,000	昼食会負担金
雑収入	400	122	278	預金利息
当期収入合計(A)	220,400	189,122	31,278	
前期繰越収支差額	290,321	290,321	0	
収入合計(B)	510,721	479,443	31,278	

2) 支出の部

科 目	予算額	決算額	差異 -	備 考
特別事業費	229,800	126,338	103,462	表外 1 参照
会議費	1,800	0	1,800	
会場費	20,000	0	20,000	
旅費交通費	52,000	16,580	35,420	事務局延べ 6 回
通信運搬費	22,400	34,360	11,960	切手代 31,360 円、電話 FAX3,000 円
消耗品費	9,600	9,548	52	事務消耗品費 6,000 円、3,548 円
賃金	60,200	60,200	0	事務局 7 日分
事務諸経費	9,600	0	9,600	
雑費	5,000	0	5,000	
当期支出合計(C)	410,400	247,026	163,374	
当期収支差額 (A)-(C)	190,000	57,904	132,096	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	100,321	232,417	132,096	

1 特別事業費 (126,338 円) の内訳

会議費 80,100 円 総会会議費 73,500 円、農山漁村のつどい弁当代 6,600 円
 負担金 38,938 円 J A 交流会 19,938 円、行政との意見交換会参加費 11,000 円
 畜産協会ふれあい事業調理参加費 8,000 円
 謝礼 7,300 円 講師謝礼 7,300 円 (総会)

参照：畜産協会事業「畜産関係団体調整機能強化事業」からの支援
 交流会開催会場費 9,870 円、会議費 18,000 円、講師旅費 11,950 円、講師謝金 20,000 円等、同
 事業費合計で 143,550 円の助成があった。

三重の畜産女性の会サン・カラット規約第 14 条により上記のとおりご報告します。



平成 22 年 5 月 11 日

会計担当世話人 長崎 房子

平成 22 年度事業計画（案）

サン・カラット発足以降、今年度は一つの区切りとなる 5 年目に入ります。前向な姿勢で活動を進める一方、原点を振り返り、会員相互の交流や他のグループとの親交も進めて行きたいと思えます。

活動の柱として「会員の研鑽」「情報発信、情報交換」「消費者等との交流」などを見つめていきます。

会員の皆さんからも活動の企画、具体化などについて積極的な幅広いご意見や要望を寄せていただくようお願いします。

この 4 月には宮崎県で口蹄疫が発生し、肉用牛や養豚経営に甚大な被害をもたらすとともに、地域経済にまで大きな影響を与えています。地元の生産者を始めとして多くの関係者にとって経済的にも精神的にも経験したことのない心労であったと思うと心が痛みます。一日も早い終息を望んで止みません。

毎年のように予想だにできなかったことが起きてしまっています。これからも決して悠々とした時代ではないと思えますが、仲間が集まれば、どこからとなく元気がわき出てくるようなサン・カラットでありたいと願っています。



1 畜産経営向上のための研修・視察、会員相互の交流等の活動

口蹄疫の発生を機に、防疫体制の重要性を痛感しました。飼料費の高騰を機に粗飼料の生産やエコフィードの利用等に目を向ける必要性を学びました。私たち女性も家族や仲間とともに幅広い知識を身につけて、経営に臨んでいくことが求められています。今後も積極的な姿勢で自らを高めていきたいと思えます。

サン・カラット独自の勉強会を企画するとともに、前年に引き続き、他組織が開催する交流会や研修会に参加し見聞を広げていこうと思えます。

また、サン・カラットと同じ主旨で活動を続ける「全国畜産縦断いきいきネットワーク」の存在にも注目し、交流の輪を広げたいと思えます。

サン・カラット研修会

とき：平成 22 年 6 月 23 日（水）

ところ：ウエストパーク松阪

内容：経営やこれに関係する取り組み、経験他、日頃の想いなどについて、会員にご発表をお願いします。

漁協・酪農・畜産・JA女性部交流会への参加
農山漁村のつどい
料理講習会
研修会、交流会

2 情報発信・情報交換による交流

会員同士が一堂に会して、情報交換や親睦を深めていくことは理想のひとつですが、現実的にはなかなか望めないことです。

会員誌やホームページで情報を発信していくことも、サン・カラット活動のひとつだと捉え、このツールをうまく使いこなしていきたいと思えます。活動内容を広報していくことは、会員以外の方にもこの会の活動を知ってもらえるチャンスにもなります。楽しい話題、役に立つ情報発信を目指しますので、皆さんからの情報提供もお願いします。

1) 会員誌の発行

会の活動状況や日頃の会員の皆さんのようすを伝える手段として、会員誌「サン・カラット通信」を年4回発行する予定です。

「うちのお父さん」「私の趣味」「美味しいお店紹介」「頑張る私」「近況紹介」「あの頃」などのテーマで企画しますので、会員の皆さんのご協力をお願いします。

2) ホームページによる情報発信

会の活動状況は、会員誌でもお伝えしますが、より早くをモットーにホームページからも情報発信いたします。

また、私たちの活動状況を会員以外にも知ってもらえる場として、活用していきます。

インターネットホームページ「三重の畜産広場」の一角に「サン・カラット」のコーナーを設け、ここから情報発信を行っていきます。

(サン・カラット URL <http://mie.lin.gr.jp/san/>)

3) その他の情報提供

サン・カラット事務局通信の発行やファックスまたはメールにより、会員の皆さんに知っていただきたい情報を随時提供していきます。(メールの登録はいつでもお受けいたします。)

3 畜産物の消費拡大へ向けての活動

元気な畜産を育てていくには、高い技術で良質な畜産物を生産することが大切ですが、牛乳、お肉、タマゴなどの生産物やこれらを原料にした製品をたくさん消費してもらうことも基本です。

畜産物を生産する私たちから消費者の皆さんへ、安全で安心できる食材を届けるとともに、その利用について積極的にお勧めしていくことが女性としての役割でもあると思います。そのためには、まず私たちが学び、消費者の皆さんに畜産物への理解を深めていきたいと思います。

4 その他会の運営に必要な活動

世話人会では、会員の皆さんに参加していただけるように、活動内容を検討し、これが有意義なものになるように努力しています。しかし、世話人だけで会がスムーズに運営できるとは思えません。どんな形でもOKです。皆さんの声をお聞かせ下さい。

結果として、サン・カラット会員や会を見守っていただく皆さんからの支持をいただけるように努力していきます。

また、全国各地でも私たちと同じように活動している畜産女性がいます。全国レベルでは「全国畜産縦断いきいきネットワーク」の活動にも注目していきたいと思います。一步、前へ積極的に踏み出しましょう。



三重の畜産女性の会

サン・カラットへのお誘い

三重の畜産を支える女性の皆さんが交流できるグループを作りたいと思います。一人ひとりの小さな力もたくさん集まれば、それはひとつの大きな力になるでしょう。なにか、新しい芽を皆で育ててみませんか。

- 1 会員相互の交流を深めましょう。情報の交換も積極的に！
- 2 経営向上のために研修の機会をもちましょう。
- 3 消費者の皆さんに畜産の理解を深めてもらいましょう。
- 4 将来の経営のためにいろいろな課題について語り合いましょう。
- 5 会員の意見による活動を進めましょう

・・・他にも取り組みたい活動イロイロ！
皆でまず一步！これがスタートです。



5 平成 22 年度収支予算

三重の畜産女性の会サン・カラット

平成 22 年度収支予算 (案)

(平成 22 年 4 月 1 日 ~ 平成 23 年 3 月 31 日)

1) 収入の部

科目	予算額	前年度 予算額	差異 -	備考
会費	200,000	200,000	0	会費 5,000 円 × 40 名
寄付金	0	0	0	
特別事業費	20,000	20,000	0	参加費 1,000 円 × 20 人 × 1 回
雑収入	150	400	250	預金利息
当期収入合計(A)	220,150	220,400	250	
前期繰越収支差額	232,417	290,321	57,904	
収入合計(B)	452,567	510,721	58,154	

* サン・カラット会員の年会費は 5,000 円とする。納入は 7 月末日までをお願いします。

振込先 銀行名 三重県信用農業協同組合連合会本店
 口座名義 三重の畜産女性の会
 口座種別 普通預金 口座番号 0003584

2) 支出の部

科目	予算額	前年度 予算額	差異 -	備考
特別事業費	168,800	229,800	61,000	表下 1 参照
会議費	1,800	1,800	0	100 円 × 6 人 × 3 回
会場費	20,000	20,000	0	10,000 円 × 1 回、5,000 円 × 2 回
旅費交通費	52,000	52,000	0	3,000 円 × 4 回、5,000 円 × 4 人 × 2 回
通信運搬費	22,400	22,400	0	80 円 × 40 人 × 4 回、800 円 × 12 ヶ月
消耗品費	9,600	9,600	0	800 円 × 12 ヶ月
賃金	60,200	60,200	0	8,600 円 × 7 日
事務諸経費	9,600	9,600	0	800 円 × 12 ヶ月
雑費	5,000	5,000	0	その他雑費 5,000 円
当期支出合計(C)	349,400	410,400	61,000	
当期収支差額 (A) - (C)	129,250	190,000	60,750	
次期繰越収支差額 (B) - (C)	103,167	100,321	2,846	

1 参照 (特別事業費)

会議費	97,000	2,000 円 × 20 人 × 1 回 4,000 円 × 10 人 × 1 回 800 円 × 15 人 × 1 回 100 円 × 50 人 × 1 回	謝金	18,000	18,000 円 × 1 回 (講師)
会場費	12,000	12,000 円 × 1 回	印刷製本費	6,000	2,000 円 × 3 回 (コピー)
旅費	3,000	3,000 円 × 1 回 (講師)	通信運搬費	12,800	80 円 × 40 人 × 4 回
			負担金	10,000	1,000 円 × 10 人 × 1 回
			材料費	10,000	10,000 円 × 1 回 (食材)

